

# 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議（第1回） 議事録

日 時：平成26年4月22日（火） 8：25～8：40

場 所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、新藤総務大臣・内閣府特命担当大臣、谷垣法務大臣、岸田外務大臣、下村文部科学大臣・東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、田村厚生労働大臣、林農林水産大臣、茂木経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、太田国土交通大臣、石原環境大臣・内閣府特命担当大臣、小野寺防衛大臣、菅内閣官房長官、根本復興大臣、古屋国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、山本内閣府特命担当大臣、森内閣府特命担当大臣、甘利内閣府特命担当大臣、稲田内閣府特命担当大臣、加藤内閣官房副長官、世耕内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、磯崎内閣総理大臣補佐官、和泉内閣総理大臣補佐官、長谷川内閣総理大臣補佐官

## 【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

ただ今から、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等に関する閣僚会議の第1回会合を開催いたします。

私の方で進行を務めさせていただきますのでよろしくお願いたします。

それでは、議事に入ります。

一つ目は「一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及び大会開催基本計画について」、二つ目は「大会開催基本計画の策定等円滑な準備に向けて国の対応が期待される事項」について、最後は「ラグビーワールドカップ2019について」になります。私からまとめて報告をいたします。

### （大会組織委員会について）

まず、「一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会について」ですが、資料2をご覧ください。

本年1月24日に大会組織委員会が設立されました。その後3月に理事等が追加され、現在では、森会長以下34名の理事、5名の評議員、2名の監事の体制となっています。全体の体制については別紙1を、理事等の名簿については別紙2をご覧ください。森会長の下、オールジャパンで準備を進めるにふさわしい強力な布陣ができあがったと考えております。

### （大会開催基本計画について）

次に「大会開催基本計画について」ですが、資料3をご覧ください。

大会開催基本計画は、今後の大会準備の基礎となるものであり、来年2月までにI O Cに提出することとなっています。組織委員会が取り組む最初の重要な任務であります。

この基本計画には、競技、会場、輸送、環境など大会運営に必要な様々な事項について、具体的な内容やスケジュール等が盛り込まれておりますが、その中に、関係府省庁の関連する様々な施策も書き込んでいく必要があります。

(国の対応が期待される事項について)

以上のことを踏まえ、資料4についてご覧になっていただきたいと思います。

本資料は、「大会開催基本計画の策定等円滑な準備に向けて国の対応が期待される事項」について、これまで内閣官房オリンピック・パラリンピック推進室が、東京都やJ O C、J P C及び関係府省庁と行ってきた意見交換を踏まえまして、担当大臣である私に取りまとめたものでございます。

具体的には7つの分野

- ①テロ対策、防災など「セキュリティ・安全安心」
- ②観客・関係者の円滑な「輸送」
- ③多言語対応など「外国人旅行者の受入」
- ④公共施設や、いわゆる心の「バリアフリー」
- ⑤被災地との連携など「復興・地域活性化」
- ⑥競技力向上など「スポーツ」振興
- ⑦文化プログラムの推進など「文化・環境等」

などについて、特に国の対応が期待される事項・施策を列挙してあります。

今後、大会組織委員会において、I O Cと調整しながら、基本計画の策定作業を進めていくこととなります。その際には、関係府省庁の協力をいただく場面が多々でてくるかと思っておりますのでよろしくお願い申しあげたいと思います。

各府省庁におかれては、資料4に記載された施策を中心に、省内での検討をさらに進めていただき、大会開催基本計画の策定等に向けて、積極的なご対応をいただきますように、お願い申し上げます。

(ラグビーワールドカップについて)

次に『ラグビーワールドカップ』についてですが、資料5をご覧ください。2019年に我が国でラグビーワールドカップが開催されますが、同大会は、オリパラ、サッカーW杯に次いで世界で3番目に規模の大きい国際大会であり、招致に当たって閣議口頭了解がなされ、関係省庁から政府保証

書が出されるなどオリパラ並の位置づけがされています。また、新国立競技場を主たる試合会場として、多数の選手・外国人観客の訪日が見込まれるなど、ラグビーワールドカップで得られたノウハウを東京大会に活用することも期待されます。このため、オリパラ東京大会について、ラグビーワールドカップ2019との一体的な準備について配意しつつ、政府一丸となって万全の対応を図ることとしておりますので、関係府省庁において積極的な取組をお願いいたします。

2020年東京大会を歴史に残る最高の大会とするためにも、政府が一丸となって、東京都や組織委員会と連携を図りながら、着実に大会準備を進めて行く必要があると考えております。あわせて、ワールドカップラグビー2019についても、しっかりと準備を進めていく必要があります。関係閣僚の皆様のさらなる御支援・御協力をお願い申し上げます。

それでは、今の説明に対して、御発言を順次お願いしたいと思います。時間も限られておりますが、多数の事前登録がございました。できるだけ短めに、的確にお願いいたします。

#### ①新藤総務大臣

この2020年オリンピック・パラリンピック東京大会は、経済再生、飛躍への起爆剤であり、我が国の再生を世界に発信する絶好の機会となります。

総務省としても、全世界から訪日する外国人に我が国の技術力と魅力を感じていただけるようにICT環境を世界最高水準にいたします。東京における大会ではあるが、日本中の全ての地域・自治体が様々な形で参画できるよう心がけてまいります。

テロ・サイバーセキュリティー・防災対策なども含めまして、あらゆることに準備していくため、明後日（24日）、総務省において2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等総務省準備本部を立ち上げて、対応してまいります。

#### ②林農林水産大臣

国内外の多くの人々に対しまして、「和」の良さを発信することが重要だと思っております。

資料4にも既にご説明しておりますが、選手村や宿泊施設等での「和食」の提供、競技施設等での「木材」や「畳」の活用、花で「和」を感じてもらおうビクトリーブーケ等、様々な演出を考えていきたいと思っております。

大会の成功に向け、日本が誇る農林水産物・食文化、昨年は無形文化遺産、来年はミラノ国際博、そして2020年が東京オリンピック・パラリンピックということでございますが、しっかり貢献できるよう、大会組織委員会や関係省庁等と連携しながら対応してまいりたいと思っております。

#### ③太田国土交通大臣

国交省としても、大会がスムーズに運営されるよう、空港、道路などのインフラ整備、宿泊や交

通などの快適性の確保、地震、台風等の災害に対する安全性の確保に全力を挙げます。

さらに、日本を訪れる外国人が円滑に移動できるよう、情報通信技術を用いた多言語対応のまちづくり、バリアフリーのまちづくりを進めます。

#### ④石原環境大臣

大会の開かれます、2020年は温室効果ガス削減目標年でもあるため、大会は、日本の優れた環境技術制度を世界に発信する機会にもなり得ると考えております。

そのために、大会そのものを「環境オリンピック」とすることが大切です。またこれを機に、再生可能エネルギーの導入、東京湾及び皇居の内堀・外堀の水質改善等により「環境都市東京」を実現することも重要です。

環境省としては、夏を目途に、自らの取組案を示したいと考えております。

#### ⑤小野寺防衛大臣

防衛省・自衛隊といたしましては、昨年の東京五輪決定を受け、ただちに省内に大臣を長とする特別行動委員会を設置し、すでに5回会合を開いております。

すでに金メダリスト自衛官の米満(よねみつ)選手や小原(おばら)選手、自衛隊体育学校長から意見・要望を聴取しており、体育学校を中心に選手育成強化に努めるとともに、駐屯地の一部提供、ブルー・インパルスや音楽隊、警備面などの大会運営全般にわたって協力してまいります。

特に、五輪正式種目となる女子ラグビーにつきましても、防衛省を挙げて選手育成と支援に取り組むために、体育学校の中にグラウンドの整備、または合宿所等の整備などをしてまいります。

#### ⑥根本復興大臣

東京オリンピック・パラリンピックは、力強く復興している我が国の姿を世界に発信する絶好の機会であり、東北の復興を明確な国家目標と位置付け、復興の加速化について引き続き、全力で取り組んでまいります。

東京オリンピック・パラリンピックは、東京だけのイベントではなく、被災地にも夢と希望を与えるものであり、関連イベントについて、被災地との関わりの深いものとなるようご配慮いただきたいと思っております。

復興庁としても、被災地の復興を後押しする東京オリンピック・パラリンピックとなるよう、引き続き関係機関と連携して参ります。

#### ⑦古屋国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣

警察としては、東京大会に向け、警察庁に「大会準備室」を設け、

- ・重要施設に対するテロ対策の徹底

- ・ 競技会場等の警戒警備
- ・ 観衆等関係者の安全確保
- ・ 情報収集・分析機能の強化及びサイバー対策の徹底
- ・ 交通対策

等を推進していくこととしており、閣僚各位の御理解と御協力をお願いいたします。

また、東京大会の成功のためには東京都知事及び関係部局との密接な連携のもと、国土の強靱化を進め、首都直下地震対策に万全を期すことが必要不可欠であります。関係閣僚と連携をして、必要な対策を強力に推進してまいりたくご協力をお願いいたします。

#### ⑧山本内閣府特命担当大臣

最新の科学技術や情報通信技術の活用により、海外からの来訪者のための意思伝達サポートやおもてなしの実現、交通弱者に優しい道路交通システム、夏場のゲリラ豪雨等の突発的自然災害の予測など、効果的な大会運営に資することが可能です。

本大会は、これら科学技術や IT の実用化の成果を日本発イノベーションとして世界に向けて発信していく絶好の機会となります。

事業者となる東京都の意向をよく確認し、実現に向けて協力していくとともに、これに資するよう現在科学技術イノベーションへの取組や IT 政策の充実・加速化を各府省の協力を得て図ってまいりたいと思います。

#### 【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

ありがとうございました。他に発言はございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、時間の制約もございますので、御発言はここまでとさせていただきます。以上を踏まえ、安倍内閣総理大臣から御挨拶をいただきたいと存じます。その前にプレスが入室します。

[報道関係者入室]

#### 【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】

では総理、よろしくをお願いいたします。

#### 【安倍総理挨拶】

先日、大会組織委員会が設立され、いよいよ東京大会に向けた準備が本格化します。

先般のソチ大会では、日本代表をはじめ世界各国の選手の活躍を通じて、多くの勇気や感動を頂きました。

2020 年の東京大会においても、アスリートにベストな競技をしていただき、スポーツの持つ力を

世界へ伝えていくとともに、オリンピックムーブメントを広げていきたいと考えています。

また、東京大会は、日本全体の祭典として、我が国が活力を取り戻す弾みとなるものです。特に、東日本大震災の被災地の復興を加速し、その姿を世界に発信していきたいと思えます。

残り 6 年。組織委員会や東京都とも連携しながら、速やかに、そして着実に、準備を進めなければなりません。先ほど、下村担当大臣から説明があった大会開催基本計画に関する事項については、政府の施策を総動員して取り組んでまいります。

あわせて、ラグビーワールドカップ 2019 も、我が国にとって大きな意義を有するものであり、政府一丸となってしっかりと準備を進めていく必要があります。

「みんなで頑張れば、夢は叶う」。東京大会等を大成功に導くため、閣僚の皆さまには積極的な取組をお願いいたします。

**【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】**

ありがとうございました。報道関係者はここで退室をお願いいたします。

[報道関係者退室]

**【下村東京オリンピック・パラリンピック担当大臣】**

それでは、本日の会合はこれで閉会とさせていただきたいと思えます。次回は、本日説明した「国の対応が期待される事項」等について、その後の進捗を話し合うための会議として、秋頃を目途に開催する予定であります。

なお、本日の議事内容については、配布資料を含め内閣官房から公表することを予定しておりますので、ご了承ください。

本日はありがとうございました。